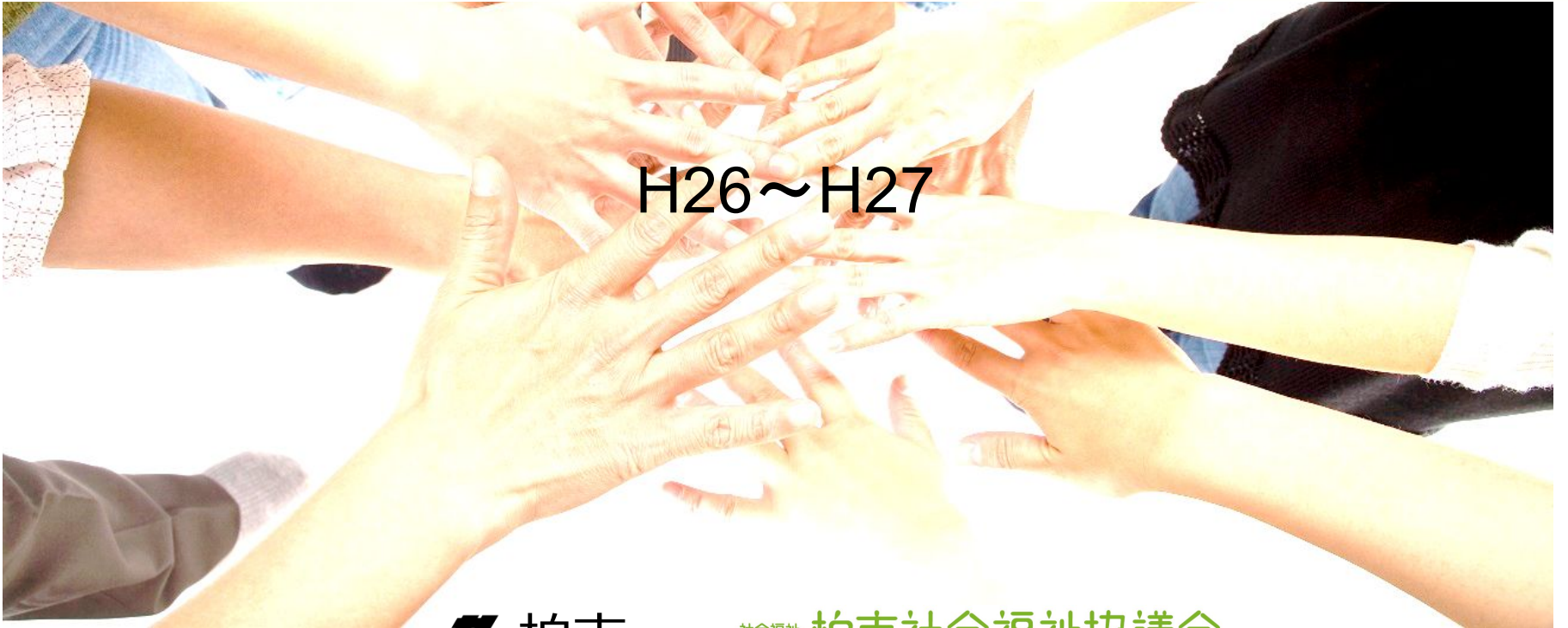




生活支援体制整備の取り組み



H26~H27

1 ▶ 研究会（市域）の発足まで

(2月にスタート・・・年度切替ロス防止！)

平成26年10月より
市と社協で協議開始

主な打ち合せ内容

- ▶ 研究会構成
活発な議論をするための委員数
- ▶ 協議体と生活支援CO
- ▶ 住民主体の生活支援等を議論の柱へ
- ▶ H28年度目標に体制整備

H26.10.21

11.11

12.25

H27. 1. 9

1.13

2. 9

2.16

第1回開催
柏市地域支え合い体制整備研究会
平成27年2月23日

研究会委員全15名
(選出母体)

- ・ 柏市ふるさと協議会連合会会長
- ・ 松葉地域ふるさと協議会副会長
- ・ 松葉地区民生委員児童委員協議会会長
- ・ 風早北部地区民生委員児童委員協議会副会長
- ・ 柏市非営利団体連絡会代表
- ・ 柏市非営利団体連絡会
- ・ 柏市老人福祉施設連絡協議会会長
- ・ 柏市老人福祉施設連絡協議会副会長
- ・ 柏北部地域包括支援センター長
- ・ 柏西口地域包括支援センター長
- ・ 柏市介護支援専門員協議会
- ・ 一般社団法人セノドライフアクトリー代表理事
- ・ 柏市地域づくり推進部地域支援課長
- ・ 柏市保健福祉部高齢者支援課長
- ・ 柏市社会福祉協議会地域支援課長

2 ▶ 研究会の議論

H27.02.23

第1回

介護保険と「地域支え合い活動」との関係
「地域支え合い活動」の現状とその課題

H27.04.10

第2回

高齢化・要介護者等の現状
総合事業における訪問型サービス
地域における生活支援サービスの推進方策

H27.05.08

第3回

地域協議体とコーディネーター
NPOと地縁型組織の連携事例の紹介

H27.06.05

第4回

生活支援の枠組み
資源開発の流れと方法

H27.07.03

第5回

生活支援における人材育成の枠組み
人材育成カリキュラム等

H27.08.03

第6回

生活支援における団体支援の枠組み
生活支援団体の補助基準

H27.10.02

第7回

訪問型サービスA等の愛称
生活支援団体の補助基準

H27.11.27

第8回

地域の居場所づくりと介護予防
訪問型サービスA等の愛称

H28.01.15

第9回

居場所に係る団体支援の枠組み
居場所に係る団体補助基準

推進体制

- ▶ 現状把握と課題整理
- ▶ 全体像の整理
- ▶ 協議体とCO

生活支援サービス

- ▶ 枠組み
- ▶ 資源開発・人材育成
- ▶ 活動支援（補助基準）

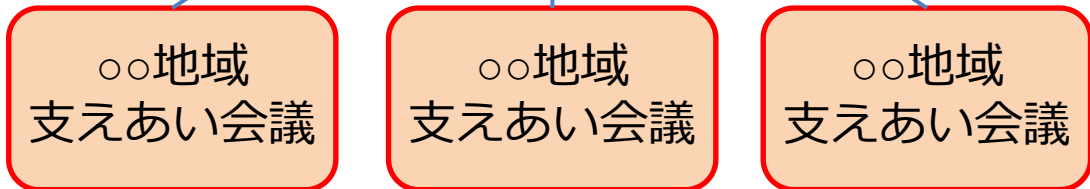
居場所

- ▶ 枠組み
- ▶ 活動支援（補助基準）

3 ▶ 地域協議体

柏市
地域支え合い研究会

20地域に設置



構成メンバー（地縁+NPO+福祉事業者等）

ふるさと協議会（地区社協）、町会、民生委員、ボランティア・NPO、地域包括支援センター、福祉施設・事業所等、支えあい活動（生活支援）に関わる方。

- Point① 活動組織ではなく、支えあいを推進する会議の場
- Point② 会議の運営は、地域支えあい推進員(CO)が担当

名称	支えあい会議
設置	コミュニティエリア単位
機能	地域のニーズや地域資源の情報共有 既存のサービスの活用 開発が必要なサービスの検討など

いつまでも安心して生活できる地域を目指して
柏市支えあい研究会
柏市地域支えあい推進員

支えあい会議 がスタートします

2025年に向けて支えあいを充実

- ▶ 地域の支えあい活動（生活支援）が必要
団塊世代の方が75歳以上（後期高齢者）になる2025年（平成37年）までに地域の支えあい活動（生活支援）を充実する必要があります。
- ▶ ちょっとした手助けが必要が増加
その理由は、ごみ出しや掃除など、身の回りのちょっとした手助けを必要とする一人暮らし高齢者や認知症の方が増え、いくからです。

地域単位（市内20地域）で
支えあい会議の開催
地域単位（市内20地域）で、生活支援の充実について話し合う場「支えあい会議」を開催します。

地域支えあい推進員配置

支えあい活動の推進と地域支えあいを推進するCO（地域支えあい推進員）を配置します。

普及啓発パンフ

地域支えあい推進員

- ▶ 地域単位で「支えあい会議」を開催
地域の課題に合った話し合いの場とするため、地域単位（市内20地域）で開催します。
- ▶ 話し合いのメンバー
ふるさと協議会（地区社協）、町会、民生委員、ボランティア・NPO、地域包括支援センター、福祉施設・事業所等、支えあい活動（生活支援）に関わる方。

話し合う内容（例）

- 現状把握と課題整理
▼ どのような課題がでて、どんな課題がある？
- 情報の収集・発信方法の検討
▼ 支えあい活動の情報を集めて、地域内に発信
- 必要な支えあい活動の検討
▼ 今後、地域の課題に必要な支えあい活動は？
- 団体間の連携方法の検討
▼ 各団体の持ち場を話し合っ支えあいの充実
- 人材育成と活動づくりの検討
▼ 大勢の支えあい活動の推進員を育てるための検討

地域支えあい推進員
（生活支援）


- 支えあい活動の推進
- 支えあい活動の開催計画と連携
- 地域での人材育成、継続的な活動


4▶ 生活支援コーディネーター

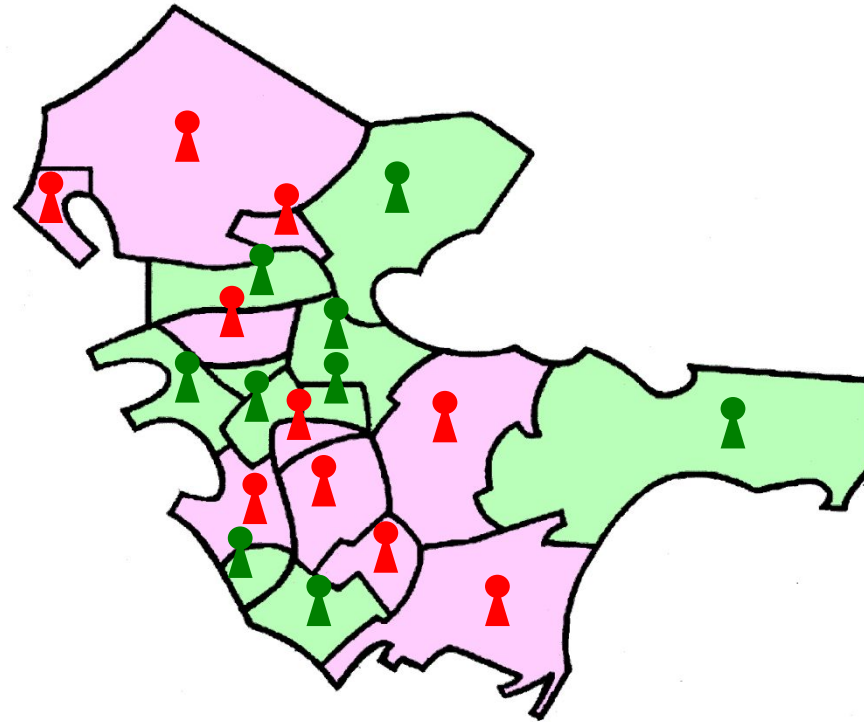
市域	名称	生活支援コーディネーター
	配置	社会福祉協議会職員（在宅福祉サービスCO経験者）
	役割	地域支え合い体制整備研究会の運営 地域支えあい推進員の育成・支援 市域の人材育成、資源開発など

地域	名称	地域支えあい推進員
	選考	たすけあいサービス及び地域づくり関係、福祉施設職員、NPO等の活動経験者から選考 社会福祉協議会より個人に対し委嘱
	役割	支えあい会議の運営 支えあい活動の情報共有と連携調整 地域内の人材育成・資源開発など
	活動	月6回程度、内1回は定例会（研修・活動報告等）
	費用	委託金（活動費及び報償費）月4万円×12ヶ月

支えあい会議と地域支えあい推進員の展開イメージ

 H27配置
地域支えあい推進員

 H28配置
地域支えあい推進員

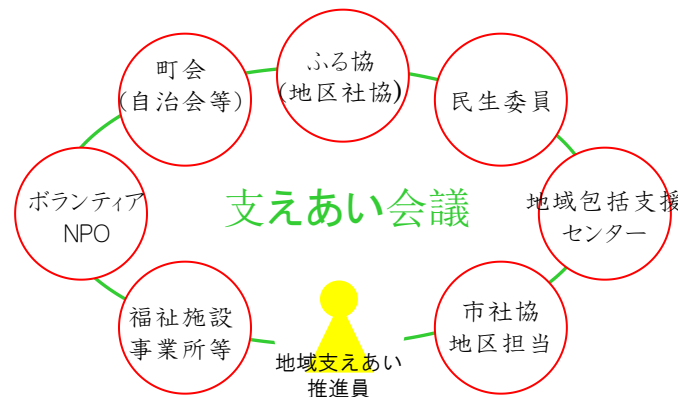


H27年度設置

北部	田中
	西原
	松葉
中央	豊四季台
	永楽台
南部	増尾
	光ヶ丘
	藤心
	風早南部
	風早北部

H28年度設置

北部	富勢
中央	高田
	旭町
	新富
	柏中央
	新田原
南部	富里
	酒井根
	南部
	手賀



支えあい会議での話し合いのイメージ



支えあい会議のイメージ

地域に必要な活動づくり

団体間の連携体制づくり

人材の確保と育成

情報の収集発信

活動の検討

連携の検討

現状把握

課題整理

支えあい会議

人材確保育成

現状把握

今の地域の状況は？

生活支援活動は？

高齢化だけでなく、最近は一と暮らし方が多いね

ちょっとした支援が必要な要支援の方が増えるのね

高齢者人口

要支援認定者数

草取り

見守り

ゴミ出し

支えあい会議

まずは私たちの地域の高齢者数や今ある活動を把握・共有します

課題整理

ゴミ出しや布団干し、洗濯などの支援が必要な人が多いみたい。

すでに活動しているNPOさんでは、ゴミ出しの依頼が入るんだけど、近くに協力ができないのが課題みたい。

まずはゴミ出しから地域全体で取り組んでみてはどうだろうか？

各町会にも声をかけてみてはどうか？

ひとり暮らしの方はどんなことに困っていますか？

どんな助け合い活動が必要ですか？

支えあい会議

身近に起きている生活課題や活動者が抱える課題を整理して、必要な活動を検討します

活動の立ち上げ準備会

こちらの手引書を参考にしてください。

組織、支援内容、手順、利用料、協力者の募集や謝礼金、会則など、一つ一つ検討していきましょう。

「できること」から始めてみるのはいかが？

●町会さんに一度、話を聞いてみるのもいいかもしれない。

利用料は運営費や協力者の謝礼を考えるとどの位がいいのかわかるかしら？

私たちだけでできるかしら？

立ち上げ準備会

立ち上げに向けた検討メンバーで準備会開催。組織や活動内容などを検討します。

必要な支えあい活動の検討

地域全体でゴミ出しの仕組みをつくらう！

でも・・・

立ち上げに協力をいただける方で具体的な話し合いをしてみようかしら？

立ち上げ準備会

支えあい会議での検討結果を具体化するため、立ち上げの中心者や募集した協力者などで話し合いの場「準備会」を定めます。

支えあい会議

支えあい会議で必要な活動が決まったら、具体化に向けて話し合いの場を設定します。

情報収集・発信

長年活動しているA団体や近くの福祉施設に声をかけてみてはどうか？

●地区では一度、立ち上げ方法などの話を聞いてみてはどうか？

地域のみなさんに「支えあいの必要性」を広報で伝えてはどうか？

協力者も募集してみようかしら？

もしかしら一緒に活動できるかも？

協力が得られそうな機関や団体は？

地域の皆さんにも理解と協力を促しましょう！

支えあい会議

協力・支援機関や先進事例の情報を集め、地域内に「支えあいの必要性」を啓発

団体間の連携方法の検討

それぞれで活動するよりも団体同士で力を合わせて活動する方がいいのでは？

一度、両団体で話し合いの場を設けてみませんか？

団体間話し合いの場

支えあい会議

団体同士で得意分野をいかして活動ができるよう話し合いの場を設定

支えあい会議で必要な活動が決まったら、具体化に向けて話し合いの場を設定します。

団体間話し合いの場

それぞれ得意分野と抱えている課題がうまく連携することで解決できたらいいですね。

協力してくれる人は沢山いるけれど、利用者や協力者のコーディネート役がなかなかいなくて・・・

一緒に活動できたらお互いカバーできる！これからの増える利用者にも対応できるかも？

私たちの活動は調理や掃除などの依頼が多くある。でも、協力者が少なく・・・

団体間話し合いの場

団体間の得意分野をいかして、連携または共同で活動！

人材の確保と育成

協力者を確保するための何かが必要でしょうか？

活動後の研修も大事！

協力者の募集と同時に研修会も開催してみませんか？

講座・研修の場

支えあい会議

活動をはじめ「きつかけ」となる説明会や研修を開催

講座や研修を開催しながら、人材の確保と育成を推進

5 ▶ 居場所の推進

これからの課題

高 齢 化

孤 立 化

介護認定者増

これから必要なこと

外 出 の 機 会

つ な が り

介 護 予 防

目指す方向性	歩いていける週1の場(居場所)がある
具 体 像	<p>近くにコミュニティカフェがあって 様々なイベントが開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 週単位で老若男女問わず行ける場があって ▶ 開催時間内で自分のペースに合わせて出入りができる ▶ 個人で参加でき、関心のあるイベントで団体の輪に参加
実現への課題	『担い手・場所・活動費の確保』

居場所の推進目標

今ある地域の居場所を推進しつつ
コミュニティカフェのような場をひろげるために

居場所の種類	目 標	推進方法等
月1型の サロン	町会・自治会単位 289	▶サロンのない町会等への啓発
週1型の サロンやコミュニティカフェ	小学校区単位 42	▶サロンからの発展 ▶新たな活動
常設型の コミュニティカフェ	日常生活圏域 7 (各圏域1～2箇所)	▶補助の仕組み ▶活動づくりセミナー

居場所実施団体の補助基準

共通要件

- ・住民主体の活動であり、もっぱら営業活動でないこと。
- ・参加者及び利用者が主に高齢者であること。
- ・参加者及び利用者を広く受け入れられる体制であること。
- ・一度に概ね20名以上が集える場であること。
- ・高齢者、子ども子育て、障害者支援等の連携・協力意思があり、利用しやすい環境であること。
- ・食品衛生責任者等の配置、保健所の営業許可等の必要な手続きを行っていること。
- ・その他、法令に係る必要な手続きを行っていること。

週1型の居場所

要件

- ① 週1日以上（年間50日程度）開催していること。
- ② 1日あたりの開催時間は、3時間以上であること。
- ③ 月1回以上の介護予防事業を実施していること。

補助金額

[運営補助] 上限10万円/年

常設型の居場所

要件

- ① 週4日以上（年間200日程度）開催していること。
- ② 1日あたりの開催時間は、5時間以上であること。
- ③ 週1回以上の介護予防事業を実施していること。

補助金額

- ① [運営費補助] 上限24万円/年
- ② [個人宅等活用補助] 活用に係る経費の補助 上限5万円/年
[家賃補助] 家賃の1/2の補助 上限5万円/月

常設型の居場所開設支援

要件

- ① 常設型の居場所に係る必要要件を満たすと認められること。
- ② 開設を計画する年度の補助（単年度）。

補助金額

[開設費補助] 上限100万円/年（補助率90%）
※備品購入、敷金礼金、工事費等。

6▶ 28年度の研究会

次年度の柏市地域支えあい体制整備研究会

設置	柏市社会福祉協議会が設置
名称の変更	柏市地域支えあい推進協議会
委員の委嘱	任期2年
役割	① 団体補助に係ること ② 支えあいの推進と進捗管理に係ること ③ その他地域福祉に係る検討事項

団体補助の流れと柏市地域支えあい推進協議会の関係

